

岩つつじ



12月1日

統合50周年記念式典 式辞



「みどり色こき 高塚の 高きのぞみにまゆあげて 今日も元気に つどいより 心をきよめ 智をみがく わが学び舎 三倉校」。これは、三倉小校歌の1番の歌詞です。昭和45年度から旧三倉小校歌をベースに産声をあげました。当時の旧三倉小、上野平小、大河内小そして、大久保小の統合ということでは、それぞれの子供たちが新校舎の落成とともに一つになり、心の



よりどころとして歌われるようになりました。歌詞の中の「高きのぞみにまゆ上げて…」のくだりには、子供たちが夢を抱き、胸を張って歩んでゆく姿が思い浮かんできます。以来、50年、行事はもとより、始業時刻には子供たちと共に歌い、一日が始まります。

学校は、子供たちにとって文字通り、よりどころとなるものです。現在、全校児童17名が集うわけですが、1年生から6年生までの子供たちが一つの大きな家族のように学校生活を送っております。これは、なんとも言えない柔らかな空気に包まれています。朝は、学校生活を始めるために必要な仕事、教室や廊下などの掃除、草花への水やり、校旗の掲揚、朝の放送など、100人規模の学校ですと5、6年生の委員会の子供たちが役割を果たすところですが、三倉小では役割を分担して全校児童で行っています。これは、教師が指導や指示をするものでもなく、子供たちがこれまでの伝統を引き継ぐがごとく、上級生が下級生に教え、下級生はそれを学び、身に付け、互いに支え合いながら生活するという三倉小ならではの文化が息づいています。こうした学年を超えた子供たち同士のかかわりの中で子供たちに思いやりや優しさが育ってきます。この子供たちの姿は、御家庭や地域の中から育まれるものであり宝物でもあります。

もう一つの宝として、本校の教育計画の中には、他の学校では類のない三倉小独自の取り組みが豊富に組み込まれています。たとえば、地域めぐり遠足や保護者や地域の皆様と共に創る運動会などの学校行事の他、基礎学習の積み上げを行う「はげみ学習」、グラウンドゴルフ、バードウォッチングやアマゴ釣りなどのクラブ活動、県の林業会議所や森林組合等関係機関を通して実施する学校山を活用した授業など学校だけではかなうことのできない活動が数多くあります。また、少ない職員では学校周辺の環境整備や作業は及ばないことがあります。(今朝ご覧いただいた、玄関や花壇のきれいな花々も地域の方々の御厚意ですが、) 学校が困っているときには手をさしのべていただき、周りの皆様に支えていただける幸せな学校

であることに感謝の念は絶えません。学校、保護者、地域、関係各所、全てが一つのチームとなって子供のために、学校のためにと手を携えて進められることは、これから求められる「社会に開かれた教育課程」を一步先ゆくものと捉えております。私は、この三倉を愛する子供たちに大きな期待をしています。「高きのぞみに まゆあげて」のごとく、自分に自信を持つために「自分らしさとは何か」を自分自身の胸に落とし、どんなときにでも動じない強い心があれば、きっと未来は明るいでしょう。私たち職員一同、子供たちとともに歩み続けてきた50年に心から感謝をするともに、今後もさらなる成長ができるよう皆様の御協力を賜り、今後も精一杯学校づくりに努めて参ります。

結びにあたり、本日御来場をいただきました、御来賓の皆様、保護者、地域の方々をはじめ、多くの皆様に感謝申し上げます、皆様方のますますの御健康と御多幸を祈念いたしまして、私のあいさつとさせていただきます。本日は、ありがとうございます。

学習発表会 12／1



一輪車の演技を披露する児童

子供たちは、来賓、保護者、地域の皆様の他、150人の前で堂々と一輪車の演技や合唱、学年の発表を行いました。一人一人の成長が見られ、皆様から大きな拍手をいただきました。ありがとうございました。

持久走記録会 12／5



自己目標に向かって走る児童

朝のかけ足や体育の授業では、少しでも自分の記録を伸ばそうと力一杯練習しました。当日は、春のような暖かかでしたが、多くの子供たちが自己ベストを達成することができました。

12・1月の主な予定

月日	曜	行 事	給食	月日	曜	行 事	給食
12/14	金	読み聞かせ PUT	○	1/7	月	特4日課 始業式 12:10 下校	×
18	火	6年生アキ森体験活動	○	8	火	健康安全の日	○
19	水	移動児童館	○	10	木	国算定着度調査 委員会活動 PTA 生活部会	○
21	金	特4日課 終業式	×	11	金	B5日課 14:00 下校	○
23	日	(祝) 天皇誕生日		14	月	(祝) 成人の日	
24	月	振替休日		15	火	あいさつ運動 SC 富田さん来校	○

